

科目区分	専門分野	授業科目	小児看護学概論
講師名	木原 千絵(15) 平田 洋子(15)	開講年次	2 年次 第 1 学期
単位数（時間）	1 単位（30 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	少子高齢社会にある現在の子どもとその家族への看護に必要な知識と考え方の基礎について、演習を踏まえて学んでいきます。		
目的：小児看護学の概念と対象について理解し、小児看護の目的と役割について総合的に理解する 小児保健の意義と看護の役割について理解する 目標：1. 小児看護の変遷を知り、小児看護の理念・目的、課題を理解できる 2. 小児の特徴を理解できる 3. 小児を取り巻く環境を理解できる 4. 小児保健統計をふまえ、小児を保護する法律や保健対策を理解できる			
回	授 業 内 容		
1	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児とは 2) 小児期の範囲 3) 小児期の区分 4) 成長・発達概念 5) 小児の特徴 6) 小児看護の対象 7) 小児看護の変遷と課題		
2～5	2. 小児の成長・発達 1) 小児の成長・発達 ①成長・発達の特徴 ②成長・発達に影響する因子 ③成長・発達の評価 2) 小児期の心理・社会的発達		
6	3. 小児と医療 1) 小児と疾病構造の変化、医療との協働 2) 継続看護(在宅・外来)、多職種との調整		
7～8 【演習】	4. 小児における倫理（グループ発表） 1) GW		
8回終了後	1 時間（45 分）：終了試験		
9～10	5. 小児各期の健康増進・栄養の特徴 1) 小児各期の成長・発達の特徴と生活支援 ①新生児期・乳児期・幼児期の成長・発達・栄養の特徴と生活支援 ②学童期・思春期の成長・発達・栄養の特徴と生活支援		
11	6. 小児と遊び、事故防止について		
12	7. 小児と公衆衛生 1) 小児に関する保健統計		
13～14	8. 小児を守るための施策 1) 小児を保護する法律と保健施策 ①予防接種法 ②児童福祉法 ③児童の権利に関する条約 ④母子保健法 ⑤学校保健安全法 ⑥児童虐待防止法 ⑦健やか親子 21		
15 回終了後	1 時間（45 分）：終了試験		
授業方法	講義・グループワーク・演習・レポート（3 校合同）		
評価方法	概論：筆記試験 90%、レポート 10% 保健：筆記試験 100% 概論+保健÷2 概論の試験は 8 回目終了して実施 保健は 15 回目で実施		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論、小児臨床看護総論 (財)厚生統計協会 国民衛生の動向		
備考	既習関連科目：成人看護学概論		